

茂林寺周辺観光地化 推進事業について問う

齊藤 貢一 議員

質問 茂林寺前駅西側区域の整備事業については、7か年事業として平成23年度より整備が進められているが、事業の進捗状況と実行可能性について伺います。

答 当初計画していた整備に必要な用地は全て取得しており、市道の整備等に着手しております。最終形

化推進事業における具現化された提案については、実効性を伴うものとして検討していくのか、伺います。

答 茂林寺沼公園用地の観光地化推進のためのハード、ソフト整備事業の提案を含め、ザ・トレジャーガーデン、茂林寺沼、駅周辺や道路まで含めた整備や利活用について、具体的な事業提案をされておりますが、現時点では具体的な方向性は決定されておりません。今後は、茂林寺周辺誘

客100万人推進プロジェクトに諮り、慎重に協議検討してまいります。

質問 茂林寺沼南岸用地の活用が、それ自体で誘客できる魅力を持たなくてはならず、つつじが岡公園やトレジャーガーデン目当てに来た客がついでに立ち寄るのではなく、逆に、南岸用地を目当てに来た客が近隣施設に立ち寄るといふ送客ポンプとしての役目を担わなければならないと考えますが、南岸用地を含めた茂

林寺周辺の観光地化について、市長の考えを伺います。

答 観光客の誘致を図るためには、市内での回遊性を高めることが必要であり、つつじが岡公園、多々良沼公園、茂林寺周辺の3か所をセットにした拠点づくりが観光ビジョンの核であると認識しており、事業の継続性、収益性、事業主体、運営方法などを考慮し、茂林寺沼公園用地の利活用をスピード感を持って図っていきたいと考えております。

健康長寿のまちづくりと 市民協働のあり方について

小林 信 議員

一元的な健康づくりを

質問 宮崎県延岡市では、医療崩壊という状況に直面して、地域医療を守るために「1に運動、2に食事、3にみんなで健診受診」をキャッチフレーズに、健康づくりの啓発活動を進めています。館林市でも関係各課が独自に健康づくりを推

進していますが、一元的に健康づくりを進める体制が必要ではないでしょうか。

関係各課の連携体制の構築

答 スポーツ振興課、健康推進課、保険年金課の合同で実施した健康づくり教室では、ウォーキングやストレッチなどを行い、適正な運動習慣を身につけるき

っかけになりました。また、スポーツ振興課と介護高齢課の合同で実施した介護予防教室などにも多くの方が参加し、市民の健康志向は確実に高まっております。

今後も関係各課の連携体制の構築はもちろん、市民、地域、行政が一体となった健康づくりを推進する必要があります。

健康づくり市民会議の組織

質問 延岡市では、健康長寿推進市民会議が組織されています。館林市でも市民

会議を組織し、総合的な健康長寿のまちづくりを進めていく考えはありますか。

今後検討したい

答 現在、本市には健康づくり推進協議会があり、具体的な協議はしておりますが、その下部組織の中で進めていくこと等も今後検討したいと思えます。

市民協働課の役割

質問 市民全体が館林市のまちづくりを進めていけるよう、庁内の各課から市民協働推進員として1名ずつ

選出し、市民協働課が掌握した全庁的な体制づくりが必要ではないでしょうか。

協働の輪を広げていければ

答 市民協働に対する考え方等の見解を全庁的に統一することは、協働の担い手である市民や市民活動団体との良好なパートナーシップを築いていく上で、とても重要であると認識しており、行政内部だけではなく、市民団体や地域の皆様との協働の輪を広げていければと考えております。